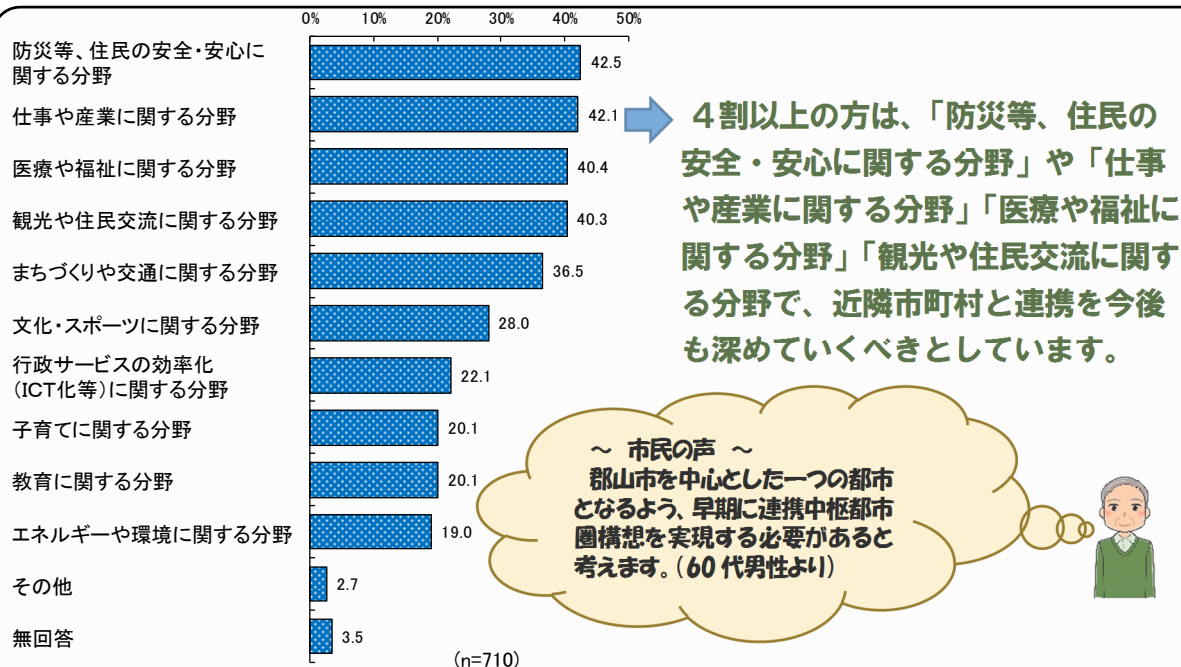


近隣市町村と連携を深めるべき分野は？

連携を深めるべき分野

住民の安全・安心に関する分野での連携が最も求められています。



参考

814 市区を対象に公的統計を基にそれぞれの市区が持つ都市力をランク付けしたもの

【「住みよさランキング」2018】

郡山市

◆住みよさ：総合 309 位

(安心 254 位 便利 259 位 快適 132 位 裕福 276 位 など)

◆成長力：総合 220 位

◆活力度：総合 72 位

◆財政健全度：総合 127 位

(脱借金体質 70 位 弾力性・自主性 272 位 財政力 232 位 財政基盤 107 位)

『都市データパック 2018 年版』東洋経済新報社

編集・発行

郡山市政策開発部広聴広報課

〒963-8601

郡山市朝日一丁目 23 番 7 号

TEL .024(924)2061

FAX .024(924)3180

※調査結果は市のウェブサイトでも公開していますので

ご覧ください。 <https://www.city.koriyama.lg.jp/>



市民意見リーダー

で検索！





みんなの想いや願いを結び、

未来（あす）へとつながるまち 郡山

～課題解決先進都市 郡山～

《市民意見レーダー》とは…

時代とともに変化する市民の皆さまの意見や様々なニーズを把握し、今後の施策、事業の検討、推進、評価等に役立てるために毎年行っているアンケート調査です。

《 市民意見レーダー 》



2018年度 調査結果報告書

概要版

市では将来都市構想「みんなの想いや願いを結び、未来（あす）へとつながるまち 郡山～課題解決先進都市 郡山～」の実現に向けて、各分野ごとにおける具体的な取組項目と達成目標を定め、まちづくりを推進しております。

この度、現在の市の取り組みについてのアンケート調査である「市民意見レーダー」の2018年度調査結果をとりまとめました。

この内容を市民の皆さまに広く知っていただくため、また、普段の生活の中でも『皆さまの想いや願い』を意識していただけるよう、概要版を公開しています。ぜひ皆さままでご覧ください。

※これまで「市民意識調査」として2009年度から実施してまいりましたが、アンケートの回答は市民の皆様の見解としていただくものであることから、2018年度から「市民意見レーダー」と名称を変更いたしました。

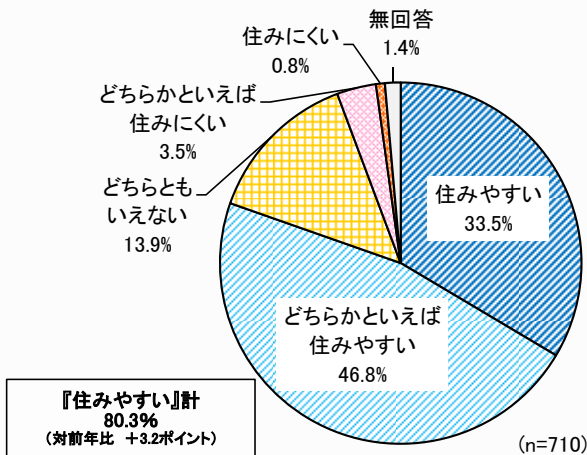
調査の設計

- ◆調査地域：郡山市全域
- ◆調査対象：郡山市内に在住する満18歳以上の人
- ◆標本数：1,500人（男性752人、女性748人）
- ◆抽出方法：住民基本台帳（平成30年8月21日現在）からの年代、地域を考慮した等間隔無作為抽出
- ◆調査方法：郵送による調査票の配布・回収、インターネットでの返信
- ◆調査期間：平成30年9月5日～平成30年9月20日（16日間）
- ◆調査項目：
 - ①住みやすさについて…質問2問
 - ②まちづくりについて（7分野43項目についての満足度）…質問43問
 - ③これからの取組について（7分野43項目についての重要度）…質問1問
 - ④連携中枢都市圏について…質問3問
 - ⑤対象者の基本属性について…質問7問 補助質問1問
 - ⑥市への意見や要望など（自由記載）…質問1問
- ◆回収結果：有効回収数＝710件、有効回収率＝47.3%（対前年比 +0.9%）

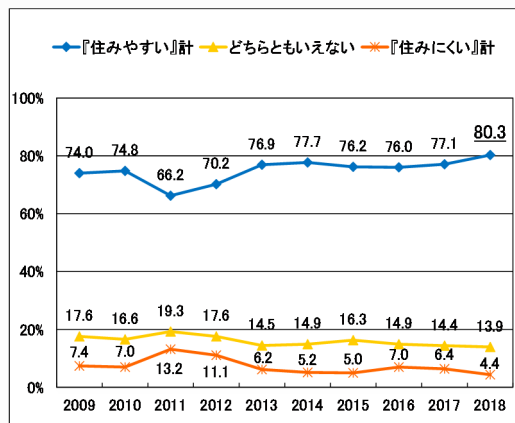
郡山市の住みやすさは？

住みやすさへの評価

8割の市民は郡山市を「住みやすいまち」としています。



【過去10年間の推移】

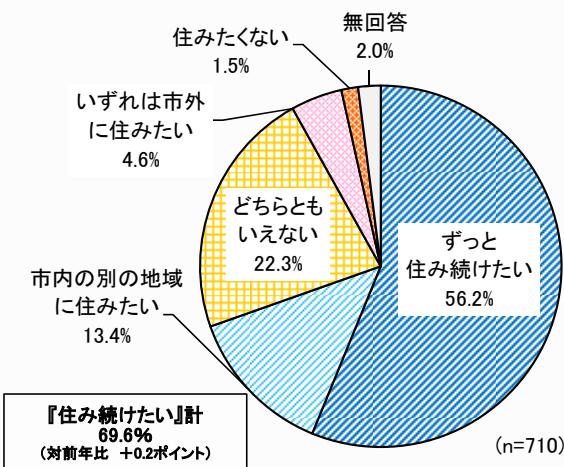


➡ 『住みやすい』計（80.3%）が約8割を占めています。
また、過去10年間で「住みやすさ」は初めて8割を超えました。

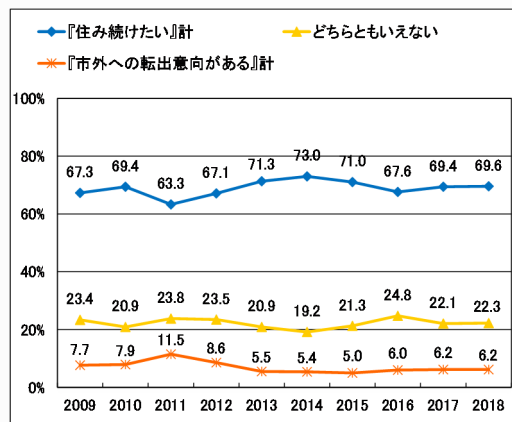
今後も郡山市に住みたいですか？

今後の居住意向

7割の市民は今後も郡山市内に住み続けたいとしています。



【過去10年間の推移】



➡ 『住み続けたい』計（69.6%）が約7割を占めています。
また、近年も『住み続けたい』計の割合は7割前後で推移しています。

「まちづくり」についての満足度と重要度は？

項目（施策）への満足度 満足度上位3つは「音楽のまちづくり」「医療」「自然環境」です。

項目（施策）の重要度 重要度上位3つは「雇用・就労」「子育て」「高齢者福祉」です。

【満足度の上位10項目（施策）】

※「よい」～「普通」～「不満」の5つの評価にそれぞれ所定の得点を与えて平均得点を算出しました。

順位	前年度 順位	分野	項目	満足度 ※	順位の変動	10位以上 の変動
1位	(2位)	Ⅱ. 交流・観光の未来	音楽のまちづくり	67.8	↑	
2位	(4位)	Ⅳ. 誰もが地域で輝く未来	医療	65.3	↑	
3位	(8位)	Ⅴ. 暮らしやすいまちの未来	自然環境	62.6	↑	
4位	(12位)	Ⅴ. 暮らしやすいまちの未来	3R（資源の有効利用）	61.9	↑	
5位	(11位)	Ⅳ. 誰もが地域で輝く未来	健康づくり	61.7	↑	
6位	(17位)	Ⅳ. 誰もが地域で輝く未来	スポーツ・文化・芸術	60.6	↑	△
7位	(13位)	Ⅴ. 暮らしやすいまちの未来	防災	60.2	↑	
8位	(1位)	Ⅳ. 誰もが地域で輝く未来	広聴広報	60.1	↓	
9位	(23位)	Ⅴ. 暮らしやすいまちの未来	防犯・交通安全・消費者対策	58.6	↑	△
10位	(20位)	Ⅲ. 学び育む子どもたちの未来	子育て	58.5	↑	△

【重要度の上位10項目（施策）】

順位	前年度 順位	分野	項目	重要度	順位の変動	10位以上 の変動
1位	(6位)	Ⅰ. 産業・仕事の未来	雇用・就労	34.8	↑	
2位	(2位)	Ⅲ. 学び育む子どもたちの未来	子育て	32.4	→	
3位	(1位)	Ⅳ. 誰もが地域で輝く未来	高齢者福祉	28.9	↓	
4位	(3位)	Ⅲ. 学び育む子どもたちの未来	学校教育	22.0	↓	
5位	(5位)	Ⅰ. 産業・仕事の未来	産業創出・企業誘致	20.0	→	
6位	(8位)	Ⅴ. 暮らしやすいまちの未来	計画的な都市づくり	19.2	↑	
7位	(4位)	Ⅳ. 誰もが地域で輝く未来	医療	18.0	↓	
8位	-	横断的取組	除去土壌等の搬出	17.5	-	
9位	(34位)	Ⅰ. 産業・仕事の未来	地域産業	17.2	↑	△
9位	(7位)	Ⅴ. 暮らしやすいまちの未来	交通・道路	17.2	↓	



満足度については「音楽のまちづくり」「医療」「自然環境」がトップ3です。
また、上位の中で前年度に比べて「スポーツ・文化・芸術」「防犯・交通安全・消費者対策」「子育て」は大きく順位を上げています。

重要度（各項目の回答率）の上位の中では、「地域産業」が大きく順位を上げているのが特徴的です。